

科目・コース（ユニット）名：医療入門2
英語名称：Introduction to Medical Practice 2

【担当責任者】木村 隆（医療人育成・支援センター）

【連絡先】igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】4年, 【学期】後期, 【必修／選択】必須,
【授業形態】講義・演習

【概要】GBT と OSCE により基本的医学知識と技能が一定水準に達していると認定されてから、student doctor としての臨床実習（BSL）が始まる。しかし、予測不可能な臨床現場で診療に参加するためには、更に必要な準備がある。「医療入門2」は、どの診療科においても必要とされる基本スキル、安全に医療を行うためのルール、研修後まで見据えた心構えを最終確認するための集中授業である。

【学習目標】

1. 目指す医師像を考え、それに向けた BSL の目標を立てる。
2. 電子カルテの適切な場所に診療情報を入力できる。
3. 「医療安全」「院内感染防止対策」「医療情報の取り扱い」の遵守事項を説明できる。
4. 基本的な検査データを系統的に読んで、陰性所見、陽性所見を説明できる。
5. 「地域医療における医療機関の役割」を概説できる。
6. 「輸液の基本」を概説できる。
7. データを基に病態と診断の推論を簡潔にプレゼンテーションできる。
8. 相手に行動変容を促す際、または悪い知らせを伝える際の留意事項を説明できる。
9. 症例の抱える問題点を、医療倫理の四原則における価値の対立の観点から考察し、説明することができる。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

- ・「誰も教えてくれなかった診断学」野口善令、福原俊一著 医学書院
- ・「がん医療におけるコミュニケーション・スキル」内富庸介 藤森麻衣子著 医学書院
- ・「プレゼンテーションの具体的なポイントとコツ」天理よろづ相談所病院レジデント著 三輪書店

【成績評価方法】

全授業・実習の5分の4以上の出席を以て評価の対象とする。
評価は、授業への出席、演習の成果・態度を総合して判断する。

【学習上の注意事項】

BSL で必要となる規範と臨床技能を総点検する授業であることを自覚して臨んでほしい。

【授業スケジュール】

回数(回)	内 容
1	(講) 講話 (BSL の心構え、医師の仕事)
1	(講) 医療安全 1
1	(講) 医療安全 2
1	(講) Evidence-based medicine (EBM) に基づく医療
2	(演) EBM 演習
1	(講) BSL で留意すべき医療情報の取り扱いについて
1	(講) 電子カルテの操作法
6 (1 回/人)	(演) 電子カルテ演習
1	(講) 医療面接アドバンス① (行動変容を促す)
1	(講) 医療面接アドバンス② (悪い知らせを伝える)
2	(講) 症例のプレゼンテーション
1	(講) 輸液の基本
1	(講) 血液ガスと乳酸値
1	(講) 心電図の読み方
1	(講) 神経画像診断
1	(講) 胸部レントゲン読影の基本
1	(講) 腹部画像診断
1	(講) 院内感染対策
2	(演) 実習を通して学ぶ院内感染防止対策の実際
1	(講) 保険診療について
2	(講) 臨床実習の学習リソースについて
2	(講) Up-To-Date の使い方
1	(講) 地域医療における医療機関の役割
2	(講) 福島県の医療の現状/卒後研修と専門研修医
1	(講) BSL と post-CC OSCE

【担当教員】

令和 8 年 4 月以降に別途通知する。

【医師として実務経験のある教員による授業科目】 該当する